

緊急帝王切開の麻酔における後方視的検討

当院倫理審査委員会の承認日：平成29年5月30日

研究の意義・目的・方法

<目的及び意義>

当院での帝王切開における麻酔管理の現状を把握し、傾向を検討することで、今後の臨床においての麻酔方法の選択や緊急時のシミュレーションを想定できるようになると期待される。将来的には当院における緊急帝王切開術のガイドラインの作成を行うことを想定している。

<研究の対象と方法>

研究デザイン 観察研究

研究対象者

2014年4月から2017年3月までの間、当院にて緊急の帝王切開術を受けられた患者様を対象としています。緊急とは予め予定されていない帝王切開術と定義します。年齢、性別、麻酔方法、疾患名、出血量、昇圧薬使用の頻度、出生後の児のApgarスコアなどの傾向などを調査します。

個人情報保護

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。さらに、この研究目的以外には決して使用されることはありません。なお、この研究は、該当施設の倫理委員会で承認されております。

上記の研究に登録したくない場合は、担当医または以下にご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

問い合わせ先

京都第一赤十字病院 麻酔科

木下真央（主任研究者）・阪口雅洋（部長） 電話：075-561-1121